

復興最前線
～震災と復興の振れ幅を感じる～



一般社団法人マルゴト陸前高田 / 理事 古谷恵一

一般社団法人マルゴト陸前高田 とは

2014年4月に、前身の「まるごとりくぜんたかた協議会」が設立。

目的は **交流人口増加のため** の一括の窓口機能を作ること。

ボランティア活動や視察など、震災後の大量の交流人口を

将来のまちづくりに繋げていくことを念頭に

「このまちだけの学び」 を材料に研修・教育旅行などの誘致、
コーディネートを実施。

継続的に陸前高田に来てもらえるような仕組みをつくるために、

市内のあらゆる事業者・市民と連携して事業を行っているのが

“一般社団法人マルゴト陸前高田” です。

事業の体制

企業

一般

外国人

大学

学校（小中高）

旅行会社

問い合わせ・予約・相談

マルゴト陸前高田

コンテンツ

研修

体験

民泊

震災学習

受け入れを調整（コーディネート）

市内各団体や施設へ依頼・相談

民泊受入家庭へ依頼

日帰りの場合もあれば、民泊・市内宿泊施設を利用する場合があります。

■マルゴト陸前高田 震災学習プログラム

復興最前線 ～震災と復興の振れ幅を感じる～



「復興」の状況は毎日変化しています。復興工事の状況をお伝えすることはもちろん、「どのような過程で復興は進んでいるのか」「陸前高田のまちづくりは未来に向けてどのように進んでいくのか」など、総合的にお伝え致します。また現地視察だけではなく、行政・事業者にもご協力頂く講話との組み合わせも可能です。

■震災遺構見学一例（旧気仙中学校）



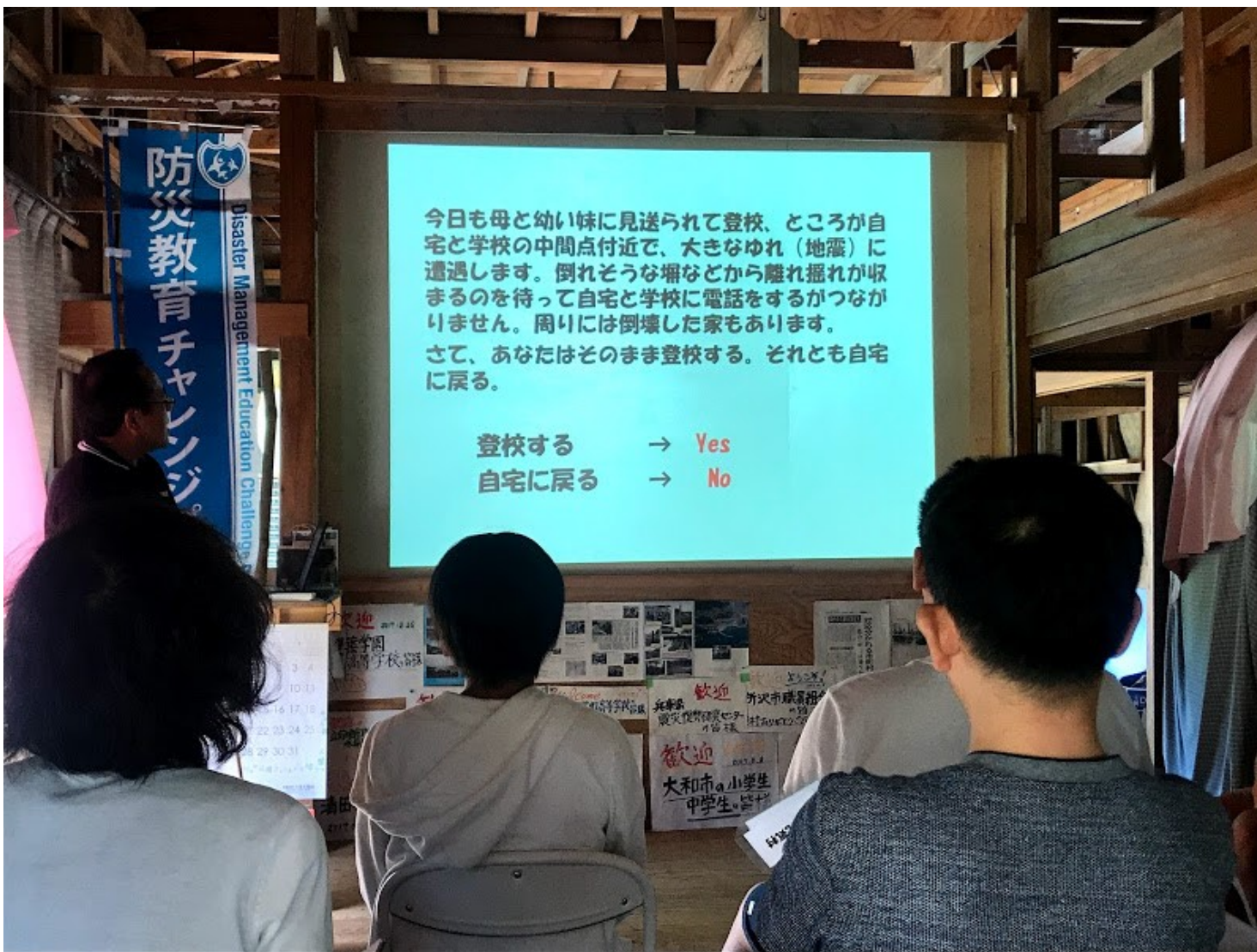
市内にある震災遺構をご案内します。津波の恐ろしさ・命の大切さについて考えて頂きます。

■震災講話一例（戸羽太市長）



震災を経験した町のリーダーとして、また自らもご家族を亡くされた経験から、「当たり前」のことは無い」という言葉を生徒の皆様にも力強くお伝えいただけます。

■震災講話一例（長洞元気村 村上誠二様）



防災クロスロードゲームを通して、「もし自分自身が被災をした時にどのように行動するか」自分事として考えます。被災をした集落、ご自宅の見学も可能です。

※スケジュール例



震災ガイド

地域貢献活動

一般社団法人マルゴト陸前高田



震災学習 震災に触れ、高田松原再生の現場を体感する

テーマ：東日本大震災が襲ったまちの“いま”に触れ、40年後の復興のその先に携わる

時間	内容	ポイント
約90分	震災学習「復興最前線」	【気持ちの導入】 陸前高田を襲った大震災と復興のいまを自分たちの目で見て感じる
	東日本大震災津波伝承館 (ガイド：館内解説員)	
	巨大防潮堤・震災遺構見学「奇跡の一本松など」 (ガイド：マルゴト陸前高田)	
	※大人数の際はクラスごとにローテーション※	
約120分	高田松原整備作業	40年後の復活を目指している高田松原の再生事業のお手伝いを体験。 体験料金の一部は、高田松原復興のために活動されている、高田松原を守る会へ寄付されます。
宿舎へ		



復興記念公園内などをご案内



奇跡の一本松周辺



高田松原再生事業

※スケジュール例

一般社団法人マルゴト陸前高田



震災ガイド

講話

震災学習 震災と復興の振れ幅を感じる

テーマ：東日本大震災が襲ったまちの“いま”に触れることで。自分自身で考え・行動することの大切さを学ぶ。

時間	内容	ポイント
約90分	震災学習「復興最前線」～震災を知る～	
	東日本大震災津波伝承館 (ガイド：館内解説員)	【気持ちの導入】 陸前高田を襲った大震災と復興のいまを自分たちの目で見て感じる
	巨大防潮堤・震災遺構見学「奇跡の一本松など」 (ガイド：マルゴト陸前高田)	
約60分	中心市街地へ～復興を感じる～ (まちあるきやフィールドワークなどを予定)	海側の状況と新しく復興が進んでいる中心市街地とのギャップを感じ、震災を伝える陸前高田と復興が進む陸前高田を感じる
宿舎へ		

講話を組み合わせることも可能です。

長洞元気村「防災クロスロード」

災害を自分事としてとらえ
「自分だったらどうするか」を考える



震災遺構「奇跡の一本松」



米沢商会ビル



再建された店舗へ訪問



旧駅舎をモチーフにした新駅舎



中心市街市街地

※スケジュール例



震災ガイド

漁業について学ぶ

生出川を知る

一般社団法人マルゴト陸前高田



海側・山側 2つの視点から陸前高田の豊かさを知る

1日目

海側の陸前高田を知る

時間	内容	ポイント
約90分	震災学習「復興最前線」	【気持ちの導入】 陸前高田を襲った大震災と復興のいまを自分たちの目で見て感じる
	東日本大震災津波伝承館 (ガイド：館内解説員)	
	巨大防潮堤・震災遺構見学「奇跡の一本松」など (ガイド：マルゴト陸前高田)	
約120分	陸前高田の漁業を知る	広田湾の豊かさを知る
約60分	ワークショップなど	率直な感想を伝え合う



遊漁船で養殖場を見学



牡蠣の生育について漁業講座

震災で一度はすべてが流されてしまった広田湾
震災から10年経とうとしているいまの海の状況を見学。
自然災害と漁業という視点から
震災後の苦労や、葛藤などリアルなお話を聞きます。

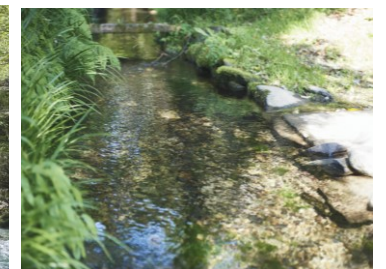
2日目

山側の陸前高田を知る

時間	内容	ポイント
約60分	生出川ウォーキング	«山・川から学ぶ» 広田湾に流れ込む気仙川の上流の環境を体感
約60分	講話	
約90分	ふれあいご飯	地域の食材を使ってお母さんたちと交流しながら郷土料理を調理



生出川沿いをたどる



清水の湧口を見学

陸前高田といえば震災によって壊滅状態に陥った海側のイメージが強いなか、山側の昔ながらの農村風景が広がる陸前高田に触れ、海側・山側両面をしることができます。

■大人数の学校にも対応可能（300名程度）



〇〇〇〇〇〇 学校 様（生徒：〇〇〇名 教職員：〇〇名 添乗員：〇名 合計：〇〇〇名）

例：復興最前線ツアー／大型バス8台（120分バージョン）

【内容】市長講話、旧道の駅タビック、旧気仙中学校

バスにガイドが一人ずつ付きます

Aグループ		Bグループ		Cグループ		Dグループ			
バス	1組 (約40人)	バス	2組 (約40人)	バス	3組 (約40人)	バス	4組 (約40人)		
13:50	陸前高田市コミュニティホール トイレ休憩	13:50	陸前高田市コミュニティホール トイレ休憩	13:50	車中待機	13:50	一本松茶屋着 トイレ休憩		
14:00		14:00		一本松茶屋着 トイレ休憩	14:00	旧道の駅タビック (バス下車、見学) 14:00～14:40 約40分			
14:10	市長講話 コミュニティホール 大会議室 14:10～15:00 約40分	14:10	市長講話 14:10～15:00 約40分	14:10	旧気仙中学校 (車内) 14:10～14:25 約15分		14:10	旧道の駅タビック (バス下車、見学) 14:00～14:40 約40分	
14:20		14:20		14:20	旧道の駅タビック (バス下車、見学) 14:30～15:00 約30分		14:20		旧気仙中学校 (車内) 14:40～14:55 約15分
14:30		14:30		14:30			14:30	旧気仙中学校 (車内) 14:40～14:55 約15分	
14:40		14:40		14:40			14:40		
14:50		14:50		14:50	14:50	14:50			
15:00		15:00		15:00		15:00			
15:10	旧気仙中学校 (車内) 15:10～15:25 約15分	15:10	旧道の駅タビック (バス下車、見学) 15:10～15:40 約30分	15:10	市長講話 コミュニティホール 大会議室 15:10～15:50 約40分	15:10	市長講話 コミュニティホール 大会議室 15:10～15:50 約40分		
15:20		15:20		15:20		15:20			
15:30	旧道の駅タビック (バス下車、見学) 15:30～16:00 約30分	15:30	旧気仙中学校 (車内) 15:45～16:00 約15分	15:30		15:30		15:30	
15:40		15:40		15:40		15:40			
15:50		15:50		15:50		15:50			
16:00	民泊に向けてのオリエンテーション(※車内にて)	16:00	民泊に向けてのオリエンテーション(※車内にて)	16:00	民泊に向けてのオリエンテーション(講話場所で)	16:00	民泊に向けてのオリエンテーション(講話場所で)		
16:10	はまっぺ会(対面式)	16:10	はまっぺ会(対面式)	16:10	はまっぺ会(対面式)	16:10	はまっぺ会(対面式)		

はまっぺ会 - 対面式 - / 陸前高田市コミュニティホール(シンガポールホール)

■陸前高田での学びで大事にしたいこと(1)

陸前高田市を捉え直す
震災/元々のまち/地方の課題

「被災地としての陸前高田」でなく
「課題先進地としての陸前高田」



「誰かのまちの苦勞」でなく
「自分のまちにも関わること」

not
correct

震災で、
大変になったまち



correct

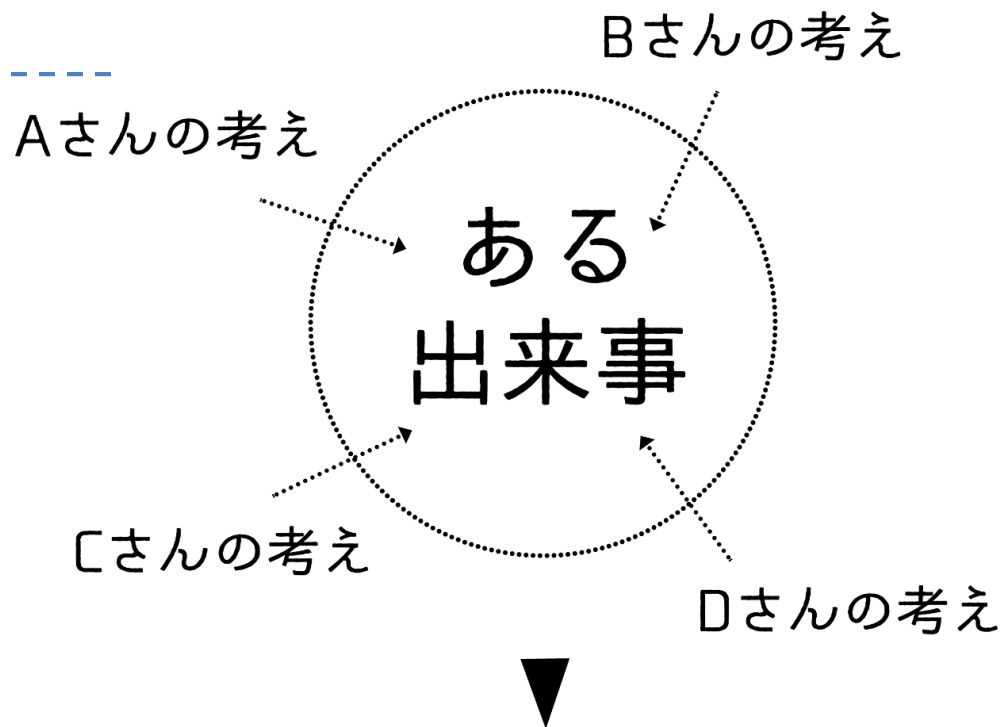
震災で、
大変なことが加速した
元々苦しいまち

■陸前高田での学びで大事にしたいこと(2)

ゼロからのまちづくりのジレンマ 正しさと正しさがぶつかる場所

一筋縄ではないゼロからの
まちづくりを通して、

ジレンマの中で
意思決定し、
課題解決していく
大切さを学ぶ



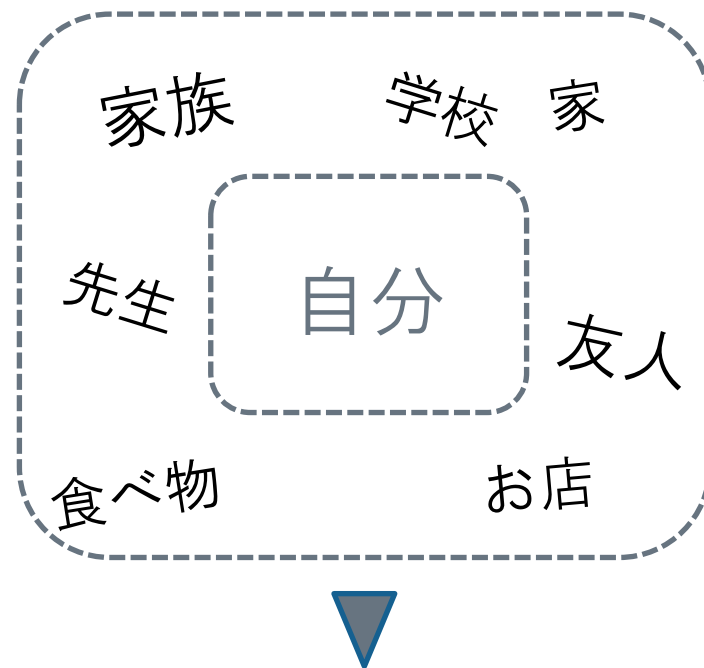
相反する様々な意見が、
ほぼ全て正しさを持つ。

■陸前高田での学びで大事にしたいこと(3)

ただ見学をして帰らない
ジブンゴトとして捉える

普段の暮らしを捉え直す。
「いつも食べているものはどこから来るのか。」
「誰がつくっているのか。」など。

自分の周りにはいる家族・友人・先生は当たり前にいる訳ではない。



当たり前でないことに気が付いた時、
どう行動するか。

■オンライン震災学習・研修について

めんこいテレビにてご紹介頂きました



現地案内と組み合わせた事前・事後学習はもちろん、オンライン学習単体の実施も可能です。

■パンフレットデータダウンロードに関して



https://drive.google.com/file/d/1QndL0sJd0oPknKfk5JdrcJ_Nbx2FkKKGU/view



■団体連絡先

一般社団法人マルゴト陸前高田

〒029-2205岩手県陸前高田市高田町字鳴石50-10

0192-22-7410

info@mrgt.or.jp

<http://marugoto-rikuzentakata.com/>



**生徒様の学年やご状況に合わせて、震災学習内容を決定して参ります。
お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。**

**ご清聴頂き、
誠にありがとうございました！**

